

グループ協議では、ワークシートの【ワーク1】～【ワーク5】に沿って協議を行います。協議時間を30分に設定することにより、短時間で効果的な協議を行うことを目指しています。

実際に使用したワークシートを基に、協議する内容やワークシートの書き方について紹介します。

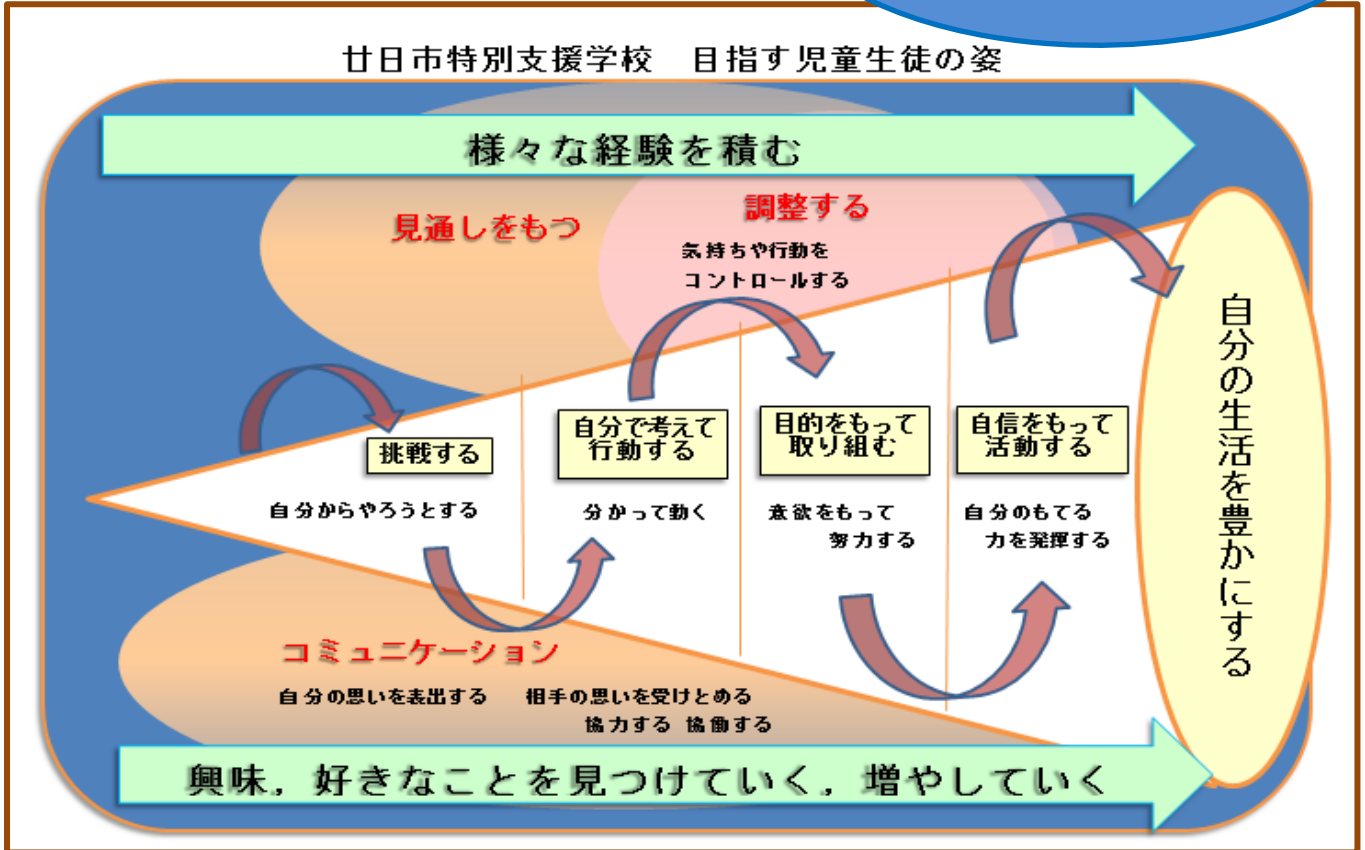
平成30年度単元づくり検討会ワークシート

☆ワーク1 【本単元で目指す児童生徒の姿】 ※「目指す児童生徒の姿」参照

5分

- ・自分から手を伸ばす「自分からやろうとする」
- ・友達と関わりあうとする
- ・道具と自分から関わりあう「分かって動く」

ワーク1では、本単元で目指す児童生徒の姿が下の図のどの部分に当てはまるかを協議しました。



☆ワーク2 【単元の到達目標を考える】 ※「資質・能力段階表」参照

5分

「分かりやすい到達目標を設定する。」

- ・単元の「ゴール」を明確にします。単元名と同様、児童・生徒にとって分かりやすく見通しがもちやすい到達点を設定します。

知的障害のある児童・生徒を対象とした教育内容・方法の充実事業報告
東京都教育委員会（平成26年）

到達点

「意欲的に活動する姿（手を伸ばす、は活動の見通しを最後までもちせてやる）」

到達点

「表情や言葉、動作等（「行きたい」という気持ちを表出している）」

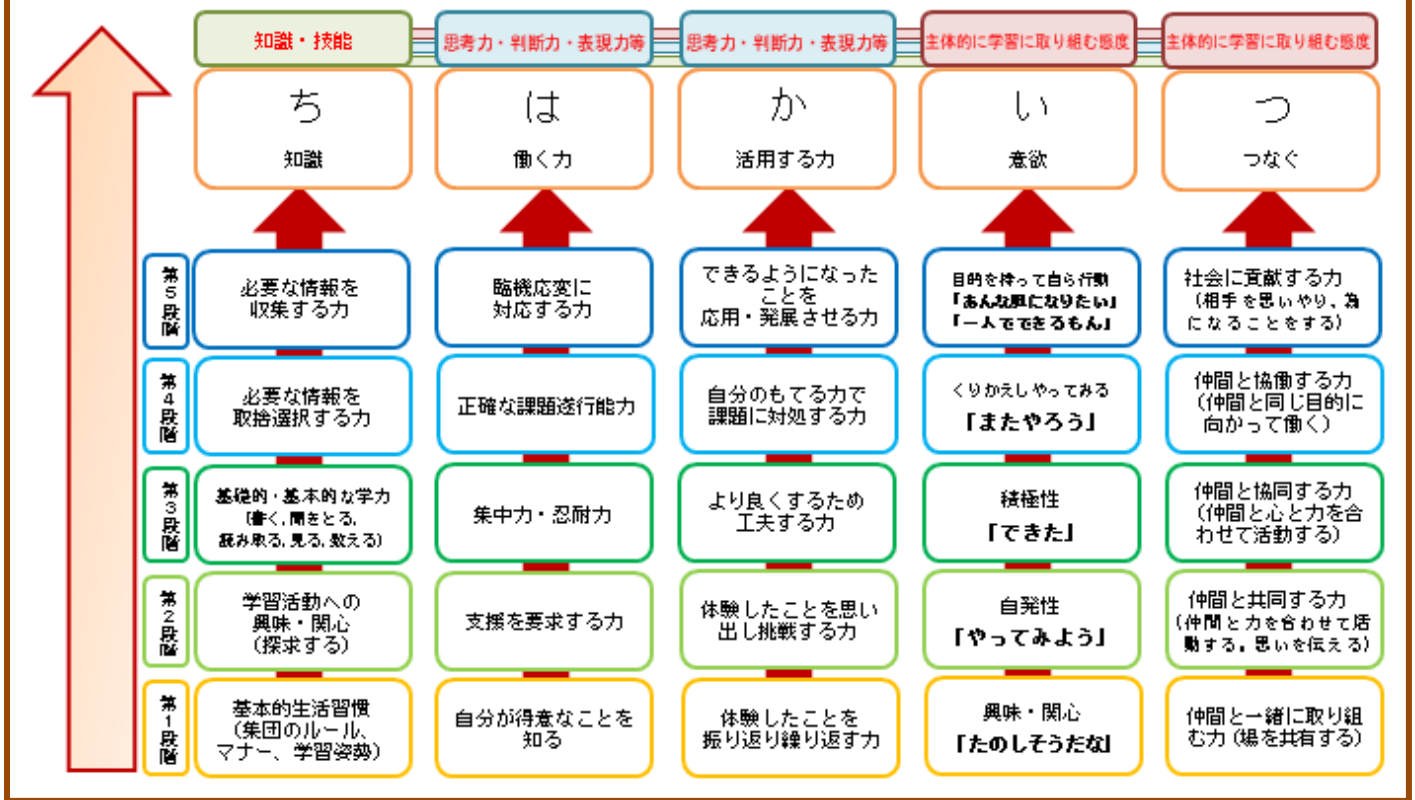
到達点

「教師の指示ではなく、自ら手を動かしてやる。」「不思議な流れがわかる（買う→作る→食べる）」

ワーク2では、育成したい資質・能力段階表を基に単元の到達目標を具体的に考えました。

廿日市特別支援学校版「育成したい資質・能力『はつかいち』段階表」

児童生徒一人一人の教育的ニーズ、特性に応じた教育を行い、その可能性を伸ばし、豊かにたくましく生きる力を育てる。



ワーク3では、児童生徒に馴染みのある言葉を使った単元名のリメイクを考えました。

☆ワーク3 【単元名のリメイク】 5分

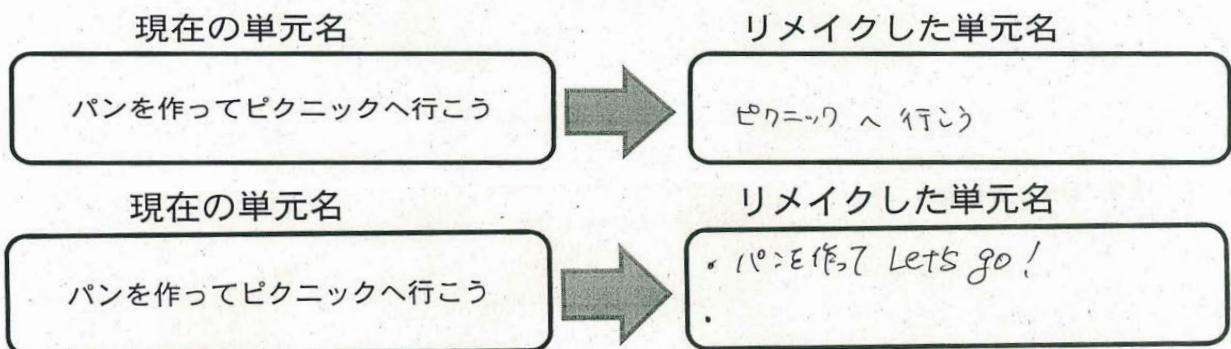
「児童生徒が言える単元名にする。」

・単元名は、単元の内容・目標を決定付ける重要な役割をもつ。

単元名は、単元の到達目標を表したものであり、児童生徒と教師が単元に取り組む際の「合言葉」であることを実感しました。魅力ある単元づくりには、テーマや到達目標を表す適切な単元名が欠かせません。

知的障害のある児童・生徒を対象とした教育内容・方法の充実事業報告
東京都教育委員会（平成26年）

※児童生徒が言える単元名になっていない場合は、リメイクしましょう。



☆ワーク4 【指導計画のリメイク】10分

※「こんな活動にしたらよくなるかも・・・」というアイデアを付箋に記入して、1ページの単元計画に貼りましょう。

「児童・生徒の学びの文脈（つながり）をつくる単元・授業」

- 単元・授業の導入・・・挑戦する，夢をえがく
- 単元・授業の展開・・・役割をもつ，工夫する
- 単元・授業のまとめ・・・振り返る，対話する

「生活単元学習における単元づくりのポイント」 竹林地 毅（平成29年）

ワーク4では、指導計画全体の流れについて協議を行い、本時だけでなく、その前後の活動についての意見もたくさん出ました。

2 指導計画

	指導計画	期日	時間	指導内容（学習内容）
第1次	どんなことをするのかな？	4/16（月） 4/18（水）	2	小麦粉や片栗粉等の粉を用いた感触遊び ・ピクニック ・高学年作業
第2次	パンはどうやってできるの？	4/20（金） 見学（たけいばなこ、もらこ）		見学の振り返り、パンの作り方を振り返る
第3次	パンを作ってピクニックに行こう①	5/1（火） 5/2（水）	12	1. 小麦粉を使った小麦粉の感触遊び 2. パン作り（こねる） 3. 作ったパンをピクニック（校内クッキング） ・サンパケでの自由遊び ・絵本の読み聞かせ ・作ったパンをピクニックで行く
	パンを作ってピクニックに行こう②	6/22（金） 6/25（月）		パンを作ってピクニックの内容を行う
	パンを作ってピクニックに行こう③	6/26（火） 6/27（水）		パンを作ってピクニックに行こう①と同様の内容を行う
	パンを作ってピクニックに行こう④	6/29（金） 7/2（月）		パンを作ってピクニックに行こう①と同様の内容を行う
	合計			16

1学年1授業はこの授業

活動がモロモロ、買い物は別として、パン作りとピクニックは集め

買い物はメインにするのであれば、実際に商店で買い物をする

☆ワーク5 【授業実践に向けて】

「生活単元学習を評価する7つの視点」

- ①単元名が生活に即し、分かりやすく、吟味されているか。
- ②単元の目標が生活上の目標達成や課題解決につながるものになっているか。
- ③実際の生活から発展した計画になっているか。
- ④身に付けた内容を生活に生かす計画になっているか。
- ⑤児童生徒の目標意識や課題意識を育てる活動を含んだ計画になっているか。
- ⑥児童生徒が興味・関心や課題意識をもてる授業の導入になっているか。
- ⑦児童生徒が十分活動し、繰り返す中で、気づき、考え、試行する授業の展開になっているか。

特別支援学校 生活単元学習ガイド 秋田県教育委員会（平成28年）

児童・生徒が「今できること」を大切にする。

「うまくいった」「自分でできた」と実感することができる活動により、人から認められたり褒められたりする経験を多く味わうことができますようにします。

そのためには、児童・生徒の「できること」の把握と、「できる状況づくり」が重要です。

知的障害のある児童・生徒を対象とした教育内容・方法の充実事業報告 東京都教育委員会（平成26年）

ワーク5では、各学部の仮説を基に考えた指導・支援の工夫を付箋に記入し、共有しました。

仮説を意識した指導・支援の工夫を考えてみましょう。

※付箋を貼りましょう。（一人1枚）

どんなパンを作るのか
かごの前の準備をさせる
(友達の目を見る)
・まだ出ていないか
かごの準備はかご
(友達の目を見る)
子どもはみんな準備ができていない

見通しを立てる時に「できること」を自分で考えておきたいか？
・事前の活動はかご
・この日の学習の準備はかご
・かご？
見通しを立てる

くり返し指導基準に
毎時何の計画を立てるか
入れ
・見通しを立てるための活動は
より進めたい
流れの統一
言葉の統一

パン作り道具の準備やセクシーに行く時の準備は自分でできるようにする。
道具の準備場所をラベルで
必要なもの写真と一緒にかごの準備できるようにする。